

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
生理機能検査学Ⅱ	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	野邊 八重子 ※
授 業 概 要					
政令で定める生体機能検査を円滑に実施するための知識を修得する。生体機能情報を収集するための理論と手技、そして結果の解析と評価をできるようにする。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・検査目的の対象となる臓器の構造と機能を説明できる。 ・測定目的、原理、操作方法、アーティファクトを説明できる。 ・測定結果の判読法を学び臨床的意義を説明できる。 ・測定機器の原理、構造を説明できる。 					
実務経験のある教員					
野邊 八重子：病院での臨床経験を踏まえ、呼吸器系の検査の意義及び臨床検査技師がどのように検査を行うかを概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	呼吸生理の基礎：肺の構造と機能、呼吸器系の検査の基本事項				野邊 八重子 ※
2	呼吸機能検査機器の構造と取り扱い、気体の表示法				
3	換気機能検査Ⅰ：肺気量分画				
4	換気機能検査Ⅱ：スパイロメトリによる機能的診断 フローボリューム曲線、ピークフローメータ				
5	換気機能検査Ⅲ：スパイロメトリと疾患				
6	換気機能検査Ⅳ：機能的残気量（ガス希釈法） 機能的残気量（ボディプレチスモ法）				
7	換気機能検査Ⅴ：気道抵抗と呼吸抵抗				
8	換気機能検査Ⅵ：肺コンプライアンス、				
9	換気機能検査Ⅶ：気道可逆性試験と気道過敏性検査				
10	換気機能検査Ⅷ：クロージングボリューム				
11	肺胞機能検査Ⅰ：肺拡散能力				
12	肺胞機能検査Ⅱ：肺内ガス分布、シャント				
13	呼吸機能検査と疾患				
14	呼気ガス分析：呼気ガス分析、エネルギー代謝など				
15	呼吸系運動負荷検査：呼吸困難の評価、最大酸素摂取量と心拍数・血圧				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書及び配付資料を用いた授業を行う。 ・事前に関連部分の教科書を読んで予習しておくことが望ましい。 ・講義後に配付資料と教科書の関連部分を読んで復習すること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義開始時又は終了時に小テストを実施する。 ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は教育上不利益にならないよう考慮する。 ・定期試験（70%）及び小テスト（30%）により評価する。 ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
[教科書] 最新臨床検査学講座 生理機能検査学 東條尚子 他 医歯薬出版 [資料] 配付資料					